

●評価書

都市再生緊急整備地域名 高槻駅周辺地域

	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現	特記事項
記載事項	【高槻市総合戦略プラン(第5次高槻市総合計画)(平成22年度策定)】 「基本目標5-2: 知の拠点としての環境の充実を図る」 ・知の資源を活用した産官学連携や地学連携などが、積極的に進められるよう支援する。 【高槻市都市計画マスタープラン(平成22年度策定)】 ○目標 「都市機能の樹実による来訪者でにぎわう中枢都市拠点の形成」 ・高槻市の玄関口であるJR高槻駅北東地区都市開発事業などにより、商業、居住、医療、文教、福祉、交流機能などの都市機能の集積や高度化を図り、多くの市民や来訪者が訪れ、北摂で一番の魅力ある中枢都市拠点の形成を進める。 ○都市整備の方針 ・高槻市の玄関口であるJR高槻駅北東地区都市開発事業の促進を始め、都市再生緊急整備地域における教育研究・医療・環境機能高度化事業を促進する。 ・鉄道英へのアクセスを高める(都)古曽部天神線や(市)北園高槻線、(都)高槻駅前線の整備を促進する。 ・JR高槻駅における交通結節点機能を高めるため、鉄道駅南北のデッキの機能強化をはじめ、乗継ぎ利便性の向上やバリアフリー化を推進するとともに、鉄道駅についても利用者が安全快適に利用できるように推進する。	・「JR高槻駅北東地区都市開発事業」は、H24年度まちびらきを行い、H28年度の施設に全棟竣工により都市開発事業、公共施設整備ともに完了。 ・「大阪医科大学教育研究・医療・環境機能高度化事業」では、民間事業者が、施設の建替えによる大学および病院機能の更新に順次取り組んでいる。また、公共施設整備は、建替えが完了後、壁面が後退した空地に緑道を整備する予定である。 ・その他に今後予定されている都市開発事業及び公共施設整備はない。	・人口(地域内 単位:人) 1,789 (H17)→4,749 (R1) ・世帯数(地域内 単位:世帯) 819 (H17)→ 2,186 (R1) ・地価(地域内 単位:円/㎡) 168,320 (H17) 竣工時: 204,800 [+22%] (H28) →219,200 [+30%](R1) ○駅及び幹線道路へのアクセス性の向上 ・踏切のご線橋化(JR高槻北東地区) (ご線橋通行量 単位:人) 2,700(整備前) →6,000(整備後) ○教育・医療・福祉機能等、多機能な複合都市拠点を形成 ・医療機能 手術室数(単位:室) 13(整備前) → 20(整備後) 年間手術件数(単位:件) 9,060 (H27) → 11,685 (H30)	「大阪医科大学教育研究・医療・環境機能高度化事業」は、都市再生特別地区に指定。民間都市再生整備事業。今後、建設予定の建物についても同様の特例を活用予定。

項目別評価	・「高槻市郷豪戦略プラン」において、「知の拠点としての環境の充実を図る」ことが掲げられている。 ・「高槻市都市計画マスタープラン」において、当該地域の目標や整備の方針が示されている。	・「JR高槻駅北東地区都市開発事業」はH24年度に完了。 ・「大阪医科大学教育研究・医療・環境機能高度化事業」は当初H31完了予定であったが、事業者の計画変更によりR7年4月まで延長することとなった。 ・その他予定されている事業等はない。	・人口、世帯数、地価等において、都市再生の効果の発現が認められる。	
総合評価	都市開発事業等が進捗し、地域整備方針に掲げる「多機能な複合都市拠点を形成」という「整備の目標」の実現が図られつつある。 今後も、現在推進中の都市開発事業「大阪医科大学教育研究・医療・環境機能高度化事業」等について引き続き推進する必要がある。			⇒ 地域指定を継続